

中央に入って

中山夏菜子

私がこの千葉中央JCに入ったきっかけは、父です。五年生の時に父が、近所の公民館に中央のポスターが貼られていたのを見て、「やってみない?」と言われたのが始まりでした。それから、幕張西小で行われていた男子の練習に五月の、連休明けから体験に行きました。それから、四ヶ月後に入部しました。

最初は、練習に週に三回くらいしか行ってませんでした。その後から行く日がどんどん増えて、最終的にはAチームになってから毎日行くようになりました。

そして迎えた新人戦。私にとって初めての大きな大会。ものすごい緊張していました。一回戦目、市川というチームでした。私は試合に出て、サーブもアウトになっては、スパイクも他のコート笛の音が、自分達のコートでの音だと思い、打てませんでした。とにかく自分の出来ることを出さずに終わってしまった、新人戦でした。私は「今のままじゃダメだ。もっと上手にならないと。」と思いました。そして、練習はどんどん厳しくなっていました。

そして、迎えた、夏の全国県大会。

「新人戦みたいにはやらない。」

と思い迎えた、この大会。一回戦目は勝ちましたが、二回戦目、クローバーV・四街道と戦いました。私は新人戦の時とは比べて、良くなっていたのですが、全然だめでした。特にスパイクを打つ時のジャンプ力も落ちて、ほとんど相手のチャンスボールになって負けてしまいました。この頃から、

「六年はだらしない。」

と監督に言われてきました。

スポ少関東では、3位という結果でした。しかし、回りの方々はそんなに喜んでくれませんでした。当然です。去年のももかちゃん達の代の「優勝」という成績に比べたら、そんなにすごくはありません。私は、この日塚田とは、大接戦をして負けて、もう少しで、勝てた相手だったので、次は絶対に勝とうと思い練習にのぞみました。

そして関東の県大会。中央は、薬南の枠に入りました。君津Jr、大津ヶ丘を破り、ベスト8入り。10月23日、南房総ふれあいセンターで行われた、決勝トーナメント、薬南とです。張り切ったのぞんだこの日。張り切りすぎて、行進では、手足が一緒になってしまいました。そして、始まった薬南との試合。相手の4番のブロックが怖くて、自分のプレーが、思い切りできませんでした。この場を出るまでに、監督や保護者からも責められ、他のチームからの冷たい視線を感じ、

「もうここに、いたくない。」

と思いました。そして、その後の、祝勝会で、父に

「自分の出したゴミも片付けられないやつが、相手のブロックに真っ向勝負できるか!」

と言われて、悔しくて、悔しくて、もう二度とこんな思いはしないと誓いました。

そして私達 6 年生にとって最後の戦いである、スポ少全国の県予選が始まりました。私が決勝トーナメントにのぞんだ気持ちは、

「この千葉中央を山形県に連れていく。絶対に自分に負けない。」

という気持ちでコートに入りました。ベスト8で、坪井に勝ち、準決勝、薬南が待っているコートに入りました。あの試合、コートの 6 人とベンチの 5 人は一体となって戦いました。結果は 3 位で全国の切符をのがしてしまいましたが、みんな思いっきりやってくれました。そのおかげで、最高の思い出を作れました。すごい悔しいけど一生思い出に残る戦いことができました。一生忘れません、ありがとう。

監督、運動が全然ダメだった私をここまで、バレーができるようにしてくれてありがとうございました。おかげで強い人間になれました。ありがとうございました。

コーチの方々、励ましや、ときには厳しい声をかけてくださりありがとうございました。コーチ達の声のおかげで、自分に自信がもて、思いっきりプレーができました。

Aチームのみんなへ。1年3ヶ月という短い期間だったけどありがとう。私も日本1を目指すのでみんなも日本1を目指してね。応援してるから。後、後悔の残らないように、思いっきりバレーボールをやってね。

低学年のみんなへ。みんなが声をからして応援してくれたこと忘れません。後、練習をして上手になってね。

遠征に行ったら、いろんな技術を教えてくださった、他チームの監督やコーチの方々ありがとうございました。中学校に、行っても頑張ります。

ここまでこれたのは、指導者の方々、保護者の方々のおかげです。ありがとうございました。

中学生に、なったら中央で学んだ礼儀を、いかして生活していきます。そして、レギュラーの座を必ずとって、全国制覇を目指します。先輩との上下関係や他人に迷惑をかけないように頑張ります。

改めて、1年間ありがとうございました。